



TITLE:

『座』ノ研究(三、完)

AUTHOR(S):

三浦, 周行

CITATION:

三浦, 周行. 『座』ノ研究(三、完). 經濟論叢 1917, 4(6): 818-825

ISSUE DATE:

1917-06-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127220>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號六第 卷四第

行發日一月六年六正大

論說

中壽ノ說(一).....	法學博士	財部 靜治
奢侈税ノ本質及其構造.....	法學博士	神戶 正雄
『座』ノ研究(三、完).....	文學博士	三浦 周行
東洋ニ於ケル古代ノ社會政策.....		瀧本 誠一

時事問題

船腹調節策.....	法學博士	戸田 海市
禁輸及關稅ニ依ル包圍攻撃.....	法學博士	神戶 正雄
米國ノ勞働缺乏ト日本移民.....		米田 庄太郎

雜錄

Utilityノ譯語ニ就イテ.....	法學士	小島 祐馬
海上保險發展史ニ關スル一異說.....	法學士	小島 昌太郎
山片幡桃ノ米價論.....	法學士	本庄 榮治郎
精神の活力ト年齡.....	法學博士	河上 肇
佛領亞弗利加植民地鐵道ノ現在及將來.....		山本 美越乃
Ch. Boothノ死ヲ聞キテ.....	法學博士	財部 靜治

『座』ノ研究 (三、完)

三 浦 周 行

九

座ト密接ノ關係ヲ有セル市場ハ京都ヲ始メトシテ地方ノ都市村落、到ル處ニ存セリ。今日吉神社文書ニ據ツテ地方ノ市ノ所在地ヲ考フルニ、概ネ本街道ノ要路ニ當リ、湖東ノ平地ニ於テ最も多クノ分布ヲ見ルハ一ハ交通ノ便アルニ依ルベク、一ハ此方面ノ物資ニ富メルニ依ルベシ。現今地名ニ市ヲ冠スルモノハ多ク古昔ノ市場ニ關係ヲ有スルモノナリ。(除外例ハアルニモセヨ)今試ミニ近江ニ於テ此種ノ地名ヲ求ムレバ次ノ如シ。

野洲郡 市三宅村 今市村

甲賀郡 市場村 大原市場村 深川市場村 市原村

蒲生郡 市ノ邊村 市子沖村 市子川原村 市子殿村 市原野村 市井村 市子中村

市子松井村

神崎郡 八日市町

愛知郡 市ヶ原 市村

坂田郡 本市場村 市場村

東淺井郡 八日市村

伊香郡 今市村

高島郡 市場村

近江ノ諸郡中、蒲生郡ハ其最大多數ヲ占メタリ。今ハ神崎郡ナル八日市ノ如キモ源平盛衰記ニハ小脇ノ八日市ニシテ、モト蒲生郡ニ屬セシナリ。コレヲ見ルモ坐ロニ往昔同地方ニ於ケル商業ノ殷賑ナリシヲ思フベシ。

交通ノ不便ニシテ信用ノ缺欠セル戰國時代ノ商業ガ此クノ如ク意外ノ發達ヲナセルハ、朝廷幕府社寺守護等ノ外護ニ依リシコト勿論ナリト雖ドモ、商人自身ノ團結ガ極メテ鞏固ニシテ自衛ノ方法備ハレルノ一事亦決シテ輕視スベキニアラザルナリ。

地方ノ村落ニハ市アリ、市ニハ又座アリ、故ニ村落ノ規約ハ又市ニモ座ニモ應用セラレタリ。永祿六年九月二十六日枝村ノ申狀ハ這般ノ事情ヲ窺フニ足レリ。同村ハ嘗テ美濃街道ノ壅塞セラレシ日村民兩人ガ保内ニ一書ヲ差入シテ二十日間伊勢路ノ往還ヲ許サレタリトノ保内ノ主張ヲ否定シテ、

以外虚言候、枝村之古法ニ加様之公事等出來之時者、以衆議之上ニ連署連判にて相さはき候條一人二人之爲ニ覺悟を儀者不_レ可_レ成實儀候、其上地下一老九十ニ罷成候、爲_レ始ニ彼等ニ保内え出_二狀を_一被_二道借_一申儀一切ニ覺不_レ申、彼方書付ニ相見え候兩三人者死去仕候云々、トイヘリ。コレニ據レバ、村内ノ事件ニツイテハ村民ノ衆議ニ付シ、彼等ノ連署連判ヲ以テ決議ヲ執行スルヲ古法トナシ、少數意見ノ如キハ效力ヲ有セザリシナリ。而シテ此多數意見ノ效力ニ關シテハ更ニ次ギノ如キ規約ヲ傳フ。

定 地下年寄若衆置日條々、

一右以_二書_一相定上者、於_二向後_一違亂不_レ可_レ有_レ之事、

一地下何様之儀も談合雖_レ有_レ之たふんニ付へき事、

一せんきをそむき異議有之ともからニおひては惣としてしゆはつすへき事、

右定所如_レ件、

天正十年十二月八日

年寄

惣 分(花押)

若衆

惣 分(花押)

村民ニハ年寄ト若衆トノ團體アリ、猶ホ老年會青年會トイハンガ如シ。其意村内ノ事件ハ其事タルヲ問ハズ會議ニ付セラルレバ多數決ニ從フベク、若シコレニ反シテ異議ヲ唱フルモノアラバ兩者全體トシテコレヲ處分スベシトイフニアリ。總分トハ總中、衆中トイフニ均シク團體ノ總員ヲ意味シ、代表者其花押ヲ署セルナリ。

此種ノ決議書ト思ハルルモノ外ニ一通アリ、

定 條々事

一 寄合ふれ二度仁不_レ出人者五十文可_レ爲_レ咎者也、

一 森林木なへ切木は五百文宛可_レ爲_レ咎者也、

一 木葉は百文宛可_レ爲_レ咎者也、

井くわの水

一切初かきは一つたるへき者也、

依_二衆議_一所_レ定如_レ件、

文安五年十一月十四日始之、

コハ森林伐木者等ノ制裁ニ關スル決議ナルガ、其第一條ノ會議ノ通知ヲ受クルコト一回ニ及ブモ尙ホ出席セザルモノニ向ツテ五十文ノ科料ヲ徴スル規約ハコレヲ前文ト併セ看テ彼等村民ノ間ニ

ハ寄合ニ出席スルト共ニ其多數決ニ服從スベキ義務アリタルコトヲ證スルモノナリ。其他永正十七年十二月二十六日ノ掟ノ如キハ諸堂宮庵室ニ於ケル博奕及ビ博奕ノ宿、傾城ノ宿ヲ禁ジ、伐木剪草等ニ對スル科料ヲ定メシモノニテ亦衆議ニ依レルナリ。見ルベシ、彼等ノ衆議即チ掟タルコトヲ。

十

商工業ノ座ノ性質ニツキテハ從來ノ學說往々其真相ヲ誤レリ。横井博士ハ鎌倉時代ノ市場ニ七座ヲ置キ商品ヲ見世棚ニ陳列シテ賣買セリトイハレシガ、福田博士ハ商業ノ座ハ座商ノ座ニシテ、市場ニ一定ノ座席ヲ有スルコトナラント解セラレタリ。コレ座ノ文字的解釋ト庭訓往來ニ見ユル見世棚ガ座ト同義ニ用キラレタリトノ見解ヨリ中古ノ廳ト混ゼラレシモノナリ。然ルニ座ノ意義ハ姑ク措キ、當時ノ商業ガ座商ノミニテ營利ノ目的ヲ達シ得ベシトハ何人モ思考セザルトコロ、況ンヤ利ヲ見ルニ敏キ商人タルニ於テヤ。若シ座ハ座商ニ限レリトセバ都會ハ或ハ可ナランモ、地方村落ニ於ケル商業ノ座ハ大抵立行カザルニ至ルベシ。コレヲ座ノ史料ニ徵スルモ、座ヲ以テ座商ニ限定セルモノハ一モコレヲ見出サザルノミナラズ、同博士ガ平安朝迄ノ商業ニシテ座商ノ起源ナリト看做サルル市ヨリ市ニ出入スル商人ハ一世ニ至ル迄座人ヨリモコレヲ出ダシツツアリシナリ。座ヲ市場ニ店舗ヲ構フル座商ノ意味ニ解スレバ座ハ即チ中古ノ廳ニシテ、立賣振賣ノ對稱タルベシト雖ドモ、座人モ亦立賣振賣ヲナセルモノアルニ於テハ問題トナラザルナリ。コ

ハ獨リ地方ノ座ノミニ止マラズ、京都ノ魚座ノ如キモ、洛中洛外ニ公然魚ノ振賣ヲナシツツアリシガ如キ其一例ナリ。(立入文書)

座ハ其見世棚ヲ構フルト立賣振賣トヲ論ゼズ、商工業其他同業者ノ組合ニシテ、組合員タル座人ハ必ズ專業專賣等多少ノ特權ヲ有シ、座外ノモノヲシテコレニ與ラシメザリシナリ。而シテ此特權ハ朝廷幕府神社寺院公卿其他ノ所謂權門勢家及ビ守護等ノ賦與シ承認セルモアリ、又ハ他ノ座ト協定セルモアリ。座ガ朝廷幕府其他權門勢家ヲ本所トシテ營業上ノ安全ヲ圖レルハ猶ホ同時ニ存在セル土地ノ所有者ト是等ノ本所トノ關係ニ異ナラズ。故ニ商業ノ座ノ對稱ハ立賣振賣ニアラズシテ寧ロ座外ノモノノ座ノ特權ヲ侵害スルコト卽チ脇賣ナリト謂ハザルベカラズ。

座ノ名稱ニツキテモ諸説アリ、福田博士ハ座商ノ座ノ外「クラ」又ハ「イチクラ」ノ語ニ座ノ漢字ヲ充テタルナラントノ二様ノ案ヲ出ダサレタリ。前者ニツキテハ復贅セズ、後者ハ柴學士モ評セラレシガ如ク、座ハモトヨリ音ニテ「ザ」ト讀ミ且ツ「クラ」又ハ「イチクラ」ト其義ヲ同ジクセザレバ何等ノ關係ヲ認ムベカラズ。柴學士ハ座ヲ占メラレタル或場所ノ義ガ轉ジテ座席ヲ占有スルモノ卽チ團體仲間トイフ義トナリ、特別ノ理由ニ依リ或一種ノ商人工人ノ團體仲間ヲ稱スルニ用ナルルニ至リタリトイハレシガ、而カモ此座ノ語ハ古クヨリ神祇又ハ朝廷ノ儀式ニ座席ノ意味ヲ以テ用キラレ、又佛寺ノ儀ニモ使ハレソレヨリ社寺關係ノ用語トシテ座席ヲ占ムル團集ヲ指スニ

使ハレタリトイハレシハ稍不徹底ノ嫌ナシトセズ。氏ハ又座人ト社寺トノ關係ヲ説イテ、商工業者ガ營業ノ利益ヲ確保スル手段トシテ社寺ト結ビ課税ヲ負擔シ、社寺モコレヲ便トシテ彼等ヲ神人公人トナシ、遂ニ組合ノ名トシテ座ナル語用キラレ。神人公人等ハ社寺ノ保護ヲ世襲シタリシヨリ此保護ハ後ニ特權トナリ占賣トナレリトイフレタリ。此説ハ史實ニ其根據ヲ置キ一段ノ強味ナキニアラザルモ、尙餘リニ社寺關係ニ重キヲ置クノ嫌アルヲ免レズ。座人ト社寺トノ關係以外、他ノ本所トノ關係モ同時ニ成立シタルモノナレバ、其起源ヲ社寺ニ偏スルハ妥當ヲ缺クベシ。最近ニ中山太郎氏ハ社會上ノ勢力ヲ有セルモノガ或特定ノ座席ヲ占有シテ、一般ノモノヨリ神聖不可侵ノモノトシテ尊重セラレシ思想ガ世界ニ通ジテ原始時代ヨリ共通ノモノナルヲ説キ、我國ニテモ神代ノ昔ヨリ此思想アリタルヲ以テ座ノ源流トセラレタリ。(歴史地理第二十九卷第三號第四號)余ハ敢テ此事實ヲ認メザルニアラザルモ、商工業ノ座ノ語源トシテハ亦餘リニ座ノ文字ニ拘泥セラレタル嫌アルヲ憾ミトス。

座ハ塵ノ如ク制度ニ依リテ定リシモノト異リ、全ク民間ニ於テ自然ノ發達ヲ見タリシモノナルガ故ニ其語ノ如キモ世俗ノ通用語ニ外ナラジ。從テ余ハ其語源ヲ漢字ノ字義乃至神代ノ古語等ニ求メンヨリモ、座ニ對スル俗語ノ意義ニ徴シタル方寧ロ正解ヲ得ベシト信ズルモノナリ。座ハ主トシテ武家時代ニ現ハレ來リシモノナルガ、此時代ニ於テハ僧俗ヲ問ハズ一般ニ二人以上ノ集

團ニ座ノ名ヲ附セルヲ見ル。商業ノ座ノ現在セルコトノ初メテ記錄ニ現ハレシハ南北朝時代ナルガ、是ヨリ先キ、建武元年ノ二條河原ノ落書ニハ「一座ソロハヌエセ連歌」ノ一句アリ、連歌ハ數人一組トナリテ詠ミ續ケ五十韻百韻ヲサヘ連ズルニ至ルモノニシテ、其歌人ノ一團ヲ一座トイフハ亦同意義ニ出ヅ。サレバ商業ニ限ラズ、何者ト雖ドモ一ノ組合ヲ作レバ座ト稱シ得ルナリ。猿樂ノ座ノ如キ是ナリ。唯利害ノ爲メニ結合セル座ハ其團結モ他ニ比シテ鞏固ナルト共ニ多少ノ特權ト排他的傾向トヲ有シ、且ツ永續的ナルヲ常トスルノミ。況ンヤ他ノ本所等ト結托シテ特殊ナル發達ヲ遂ゲシ商業ノ座ニ於テヲヤ。サレバ余ハ座ガ元來必ズ皆神社佛寺ニ隸屬セルニモアラズ、社寺ノ儀式ニ於ケル座ニモアラザレバ、神聖ナル座席ノ意味ニテモナク、サレバトテ市場ニ占ムベキ座席ニモアラズ、組合其者即チ座ニシテ、コレト社寺其他ノ本所トノ關係ハ必須ノ條件ニアラズト信ズ。

本論文ハ座ニ關シテ新ニ世ニ出デタル史料ノ紹介解説ヲ主トセルモノナルモ、從來ノ學說ニ對シテ啓發ノ利ヲ得シモノ亦頗ル多キヲ覺ユレバ試ミニ其一二ヲ舉ゲタリ。其他一々ノ異同ノ如キハ別ニ稿ヲ改メテ詳論スルノ便ナルヲ思ヒ此ニハ舉ゲテ省略ニ從ヘリ。(完)